

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

10

2010 No.673

目 次

3 はじめの言葉

4 論点を探る ビジネスモデル改編を求める前に

若い世代に何を伝えてきたか

田原文夫

この春役員退職した仁が、「某大手電子機器産業に勤める自分の子供も含めて、現在勤めている会社の事業内容が理解できていない若い（中堅）世代が増えている」と指摘してくれた。ほとんどの業務が情報システムのアプリケーション化されている現在、アプリケーション業務プロセスを若い世代は作り直すことができるだろうかと質問した時に帰ってきた答えである。企業全体のビジネスプロセスを見直すどころか、目の前の担当業務プロセスすら理解できていないのに、事業（ビジネス）全体を見直せるわけがない、それ以前に大問題ありというのだ。こんなところにクラウドサービスを提案されたら、一網打尽である。否、ベンダー業界が一番の狙いとしているのは、そこかもしれない。

1.1 IT 新時代とパラダイム・シフト

第13回 モバイル向けの有料放送は成功できるか

根本忠明

本年 9 月 9 日、我が国のモバイル向けの新しい有料サービス業者は「マルチメディア放送 (mmbi)」に決まった。この放送免許の選定では、いくつかの問題点が指摘されているが、本稿で問題にしたいのは、既存のケータイ向け有料放送や無料動画配信サービスと競って、新サービスが成功できるかにある。これまでの国内外の有料放送は、中止に追い込まれたり、低迷を余儀なくされている所が少なくない。有料放送の最大のライバルは、無料視聴できる放送や動画配信である。今回は、有料と無料の競争をテーマにして、この問題を整理して紹介することにする。

1.6 CIO に聞く

グループ全体の成長を裏打ちする

JTB 長期 IT 戦略プロジェクト

志賀典人

軽々に IT ガバナンスなどと言うべきではないかもしれない。その意味するところは、ただ単に情報システムリソースを統治/管理することではないからだ。また、ガバナンスすると言うには、ガバナンスされる側にも、その意味と意図、意義が理解され、認識されている必要がある。そのためには、情報システムの利用部門に「システムの利用/運用責任」「システム化投資責任」を適確に意識してもらわなくてはならない。それを実現したのが JTB の「プロジェクトオーナー制度」の素晴らしさである。この制度のもと、2015 年を目途にグローバルなビジネスプロセス改善を目指すジェーティービーの CIO 志賀典人氏に聞いた。

2 5 情報社会を考える その1

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか 編集部

我々は、原始の狩猟社会から、農業社会、工業社会を経て、そして今、情報社会の創出に向けて突き進んでいる。日本は、アメリカに次ぐ第二のコンピュータ導入／保有国として、また情報処理先進国として、その先駆を果たしてきた（とされている）。しかし本当の意味において我が国は、情報社会創出に向けて先駆的な役割を果たしてきたと言えるだろうか。そもそも、目指す情報社会とはいかなる社会なのか。本当に理解できているのだろうか。改めて問い直して見たいというのが、本論の立ち位置である。

2 9 続インテリジェンスへのいざない ⑩

成長意欲がインテリジェンスを高める 今井 武

実に嫌な表現であり仕訳名称だが、正規社員／非正規社員という呼称が市民権を得たようだ。昨今ではハローワークへの提出書類でも当該社員が正規か非正規かを訊いてくる。一方で新卒の学生就職戦線の厳しさが毎日報道される環境にあつて、既存社員の処遇優劣はさらに厳しさを増してきそうな雰囲気である。経営トップが求めるインテリジェンスとは、どういうメカニズムで決定されるものだろうか。それを作り出す人材には何が期待されてくるか。

3 2 人材紹介業界の秘話と悲話

第二話 蔓延する「青い鳥小鳥症候群」 Dr.ベスト

子供のいないものねだりをどのようになだめるか。子育てをする過程で親たちがずっと悩まされてきている命題である。「親はなくとも子は育つ」とは言え、何もしないで、努力する背中も見せないで良い子は育たない。十分知っているくせに、自らは、平気でないものねだりをしながら、良い後進は育つと考えているだ。少なくとも、人材調達現場には、その雰囲気にある。人材調達現場が今罹っている病は、どこから治癒されるべきか。

3 6 一味違うウェブ検索

第三話 ウィキペディアを調べ尽くす ぐうのうえぶへい

検索の妙手はどこにあるか。まずはオンライン統合事典サイト、特に、ウィキペディアを徹底的に利用することである。そのためには、どうしたらよいか。今回は、ウィキペディアを利用して、他の人が気づかないプラスαの情報を入手する教科書的な方法について、紹介しよう。

3 8 クラウドビジネス本格化への布石

注目の IBM の BTO サービスの行方 編集部

若干旧聞と言え言える話だが、IBM 社が本年 4 月、IBM は 2017 年を目途に、全世界の IBM 社員 39 万 9000 人のうち 10 万人を正社員とし、残りの約 30 万人については、クラウドソーシングという、プロジェクト毎に臨時再雇用（リハイアリング）する形になるというニュースが流れた。

4 0 しすてむこらむ

ビジネス・インテリジェンスと

CRM、CPMの最新動向

石崎純夫

Agile 経営と RTE (リアルタイムエンタープライズ)

今や企業を取り巻く環境は、かつてないほど急速に、しかも不連続に日々変化しながら動いている。ダーウインは、「史上では、最も強いものが生き残るのではなく、最も変化に対応できるもののみが生き残るのだ」と名言を残している。その意味で、今日ほど起こり得るあらゆる変化に対して、文字通り全知全能を絞ってそのための対応を考え、各種のシミュレーションを繰り返しながら先手を打っていく「攻めの経営」と「Agile (俊敏) な経営」が求められている時代はないといってもよい。まさに最近欧米で盛んに言われている RTE (リアルタイムエンタープライズ) の時代に入りつつあるのである。

4 3 システム化における独裁権の行使

メゾフォルテ

検察特捜とシステム部門の裁量権行使の類似点

大阪地検特捜部の検事が起こした証拠品改竄事件は、前代未聞のチョンボ事件として注目されている。その強引なまでに、捜査／逮捕／起訴の作業を推し進めるやり方は、新規システム開発現場で、調査／分析設計／開発に持ち込んでしまう情報システム部門のやり方と等価だと指摘される。なるほど、言われてみればその通り。実はそれが信頼の証であり、プロジェクトリーダーのリーダーシップかもしれない。

4 5 情報管理技術者／セキュリティ管理技術者認定

4 7 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円＋税 送料(〒300) A5版 289頁 **石井義興 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EJOが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとホスト・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正統化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A5版 249頁 **豊島一政・木村 哲 共著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEJOにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプロダクトの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 181頁 **田原文夫 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 197頁 **一橋大学教授 安田 聖 監修**
aism情報セキュリティ・マージン研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの伝説と現実
第二章 aism情報セキュリティ・マージン研究会の発足	第十二章 メールが落ちない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 住友ネット運用のための情報オナーの構築
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedフォーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2008年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのチェックポイント
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の事情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 271頁 **高田 顯重 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム革新
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム更新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 212頁 **安田 聖 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方程式のオーダリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの「得」広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,740円＋税 送料(〒300) A4版 288頁 **加藤洋一 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 発表文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向通信	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 系字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付>記者と向き合ふ十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国産グローバルサーバー
IBM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,840円＋税 送料(〒300) A5版 260頁 **迫 忠幸・湯浅 誠 共著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日米提携手続の違い
第二章 なるプロジェクト	第十二章 米軍ゲーム開発の危機
第三章 斬りこむシステムへの働き	第十三章 新たな助っ人
第四章 WDCに向けて	第十四章 米軍専務理事と新たな頼み
第五章 FJC、IBM競争	第十五章 開発フル稼働と10人ランチ
第六章 日米プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日米運用体制と本番最終日
第八章 米軍チーム立ち上げの遅れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大谷の巻、共同コミュニケーション	第十九章 臨時その一 直前、後編、直後の話し
第十章 米軍チーム、龍となる三人組	第二十章 臨時その二 発表準備と本番センター稼働

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp